

# 飛鳥・藤原宮跡等の調査概要



表5 2005・2006年度 都城発掘調査部(飛鳥藤原地区) 発掘調査・立会調査一覧

調査次数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2005年度)								
140次	5AMD・Q・P	石神遺跡	2005.10.1~2006.5.1	625㎡	明日香村飛鳥	金田明大 渡部圭一郎	学術調査	93
(2006年度)								
142次	5AJG・D・E	藤原宮朝堂院東第四堂・東面回廊	2006.4.4~2006.7.12	760㎡	橿原市高殿町	豊島直博	学術調査	72
143・1次	5AMC・E	上の井手遺跡	2006.6.26~2006.7.5	38㎡	明日香村奥山	清永洋平	学術調査	108
143・2次	5AMC・D・E	上の井手遺跡	2006.7.12~2006.7.14	100㎡	明日香村奥山	清永洋平	増築工事	70
143・3次	5BMY・L	本薬師寺	2006.7.18~2006.8.4	57㎡	橿原市城殿町	石田由紀子	住宅建設	82
143・4次	5AJC・M・N	藤原京左京六条三坊	2006.5.29~2006.6.6	343㎡	橿原市木之本町	小田裕樹	増築工事	70
143・5次	5AKT・F・SAKU・A	高松塚古墳壁画修理施設建設地	2006.8.21~2006.8.30	60㎡	明日香村平田	廣瀬 覚	施設建設	70
143・6次	5BAS・R	飛鳥寺	2006.10.31~2006.11.21	55㎡	明日香村飛鳥	玉田芳英	現状変更	105
143・7次	5AJH・E	藤原京左京七条一坊	2006.11.13~2006.11.28	8.1㎡	橿原市別所町	加藤雅士	現状変更	70
143・8次	5AMJ・M	平吉遺跡北方	2007.1.31~2007.3.9	182㎡	明日香村豊浦	関広尚世	公園整備	70
143・9次	5AMH・J	雷丘東方	2007.1.30~2007.3.20	30㎡	明日香村雷	長谷川透	公園整備	70
143・10次	5AJG・D	藤原宮朝堂院東地区	2007.2.7	40㎡	橿原市高殿町	中川あや	水路改修	70
143・11次	5AJM・B	藤原宮西南隅	2007.2.27~2007.3.5	100㎡	橿原市飛驒町	長谷川透	現状変更	70
143・12次	5AJL・Fほか	藤原宮西南官衙地区ほか	2007.3.22	5.4㎡	橿原市四分町	石田由紀子	現状変更	70
144次	5AJG・D・E	藤原宮朝堂院東第四堂	2006.7.3~2006.11.2	1264㎡	橿原市高殿町	中川あや	学術調査	72
145次	5AMD・P	石神遺跡	2006.10.23~継続中	870㎡	明日香村飛鳥	小田裕樹 石田由紀子	学術調査	93
146次	5AKG・K・L	甘樫丘東麓遺跡	2006.10.4~2007.3.14	916㎡	明日香村川原	西田紀子	学術調査	86
147次	5ALI・J	高松塚古墳	2006.10.2~継続中	43.2㎡	明日香村平田	松村恵司 岡林孝作(橿原考古学研究所) 相原嘉之(明日香村教育委員会)	石室解体	102

表6 2006年度 都城発掘調査部(飛鳥藤原地区) 小規模調査等の概要

調査次数	遺 跡	調 査 の 概 要
143・2次	上の井手遺跡	飛鳥資料館増築に伴う事前調査。調査地は既存施設部分に位置していたため、遺構、遺物とも確認できなかった。
143・4次	藤原京左京六条三坊	都城発掘調査部飛鳥藤原地区の収蔵庫建設に伴う立会調査。掘削は遺構面に達しなかった。
143・5次	高松塚古墳壁画修理施設建設地	国宝高松塚古墳壁画修理施設建設予定地の発掘調査。3×20mの試掘トレンチを設定し、現地表面から1.8m、部分的に2.8mまで掘り下げた。谷地形を埋める粘土層の堆積が厚く遺構は確認できなかった。
143・7次	藤原京左京七条一坊	現状変更に伴う立会調査。上部に石組をもつ井戸を検出。下部は矢板状の木製板材を円形に組んだもので直径約130cm、深さ150cm以上。井戸内からは五輪塔が多数出土。井戸は木枠等残しつつ、現在の井戸としても使用し、五輪塔は現地にて安置されることになった。
143・8次	平吉遺跡北方	公園整備に伴う発掘調査。小規模な溝19条と碟層2面を確認した。
143・9次	雷丘東方	階段・石垣敷設工事に伴う立会調査。地山を確認したのみである。
143・10次	藤原宮朝堂院東地区	水路改修に伴う立会調査。掘削は遺構面に達しなかった。
143・11次	藤原宮西南隅	排水工事に伴う立会調査。調査地は過去に第34次調査として発掘されている。掘削は地表下約70cmで、遺構面に達しなかった。
143・12次	藤原宮西南官衙地区ほか	藤原宮内の6カ所に、藤原宮の案内用標柱型サインを設置するための立会調査。掘削は地表下約45cmで、いずれも遺構面に達しなかった。

表7 2006年度 都城発掘調査部(飛鳥藤原地区) 現場班編成

春		夏		秋		冬	
豊島 直博(考古第一)	松村 恵司(考古第一)	玉田 芳英(考古第二)	小田 裕樹(考古第二)	高橋 克壽(考古第三)	中川 あや(考古第三)	高田 貫太(考古第三)	山崎 信二(考古第三)
市 大樹(史料)	箱崎 和久(遺 構)	西田 紀子(遺 構)	黒坂 貴裕(遺 構)	加藤 雅士	石田由紀子	竹本 晃	関広 尚世(考古第二)
	長谷川 透	廣瀬 覚(研 修)	廣瀬 覚(考古第一)		関広 尚世(研 修)	石田由紀子(研 修)	
総括: 副部長 巽 淳一郎				写真担当: 井上 直夫(写真室)		保存科学: 村上 隆(考古第一)	